

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成30年2月8日 (2018.2.8)

【公開番号】特開2017-63551(P2017-63551A)
 【公開日】平成29年3月30日 (2017.3.30)
 【年通号数】公開・登録公報2017-013
 【出願番号】特願2015-187742(P2015-187742)
 【国際特許分類】

H 0 2 J 7/14 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 7/14 H

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月21日 (2017.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

図 9 及び図 10 は第 1 の手法を示すグラフである。図 11 及び図 12 は第 2 の手法を示すグラフである。これらの図のいずれにおいても、横軸には時間を採り、縦軸にはリレー 101, 103 に流れる電流 i_1 と、リレー 102 に流れる電流 i_2 を採る（電流 i_1 , i_2 はその流れる方向を不問とする絶対値である）。またリレー 101, 102 がオープン状態にあることを「OPEN」で、クローズ状態にあることを「CLOSED」で、それぞれ示す。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 3】

第 2 の手法を纏めると以下ようになる：

(i-2) リレー 101 に所定値（上述の例では 150 A）以上の電流が流れる時間が第 1 時間（上述の例では 10 ms）に達してから、リレー 101 がクローズ状態からオープン状態へ遷移し、

(ii-2) リレー 102 に上述の所定値より大きな電流（上述の例では 200 A 以上）が流れる時間が第 2 時間（上述の例では 10 ms）に達してから、リレー 102 がクローズ状態からオープン状態へ遷移する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 6】

ステップ S101, S102, S103, S104 の纏まりは、上述の動作(i), (i-1), (i-2)に対応する。ステップ S201, S202, S203, S204 の纏まりは、上述の動作(ii), (ii-1), (ii-2)に対応する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

ステップS105では、リレー103をオープン状態にする（図1の車載ECU403からリレー103への破線矢印でこれを模式的に示した）。これは上述の様に、上記(i)の動作において、リレー103はオープン状態であるべきであるからである。

【手続補正5】

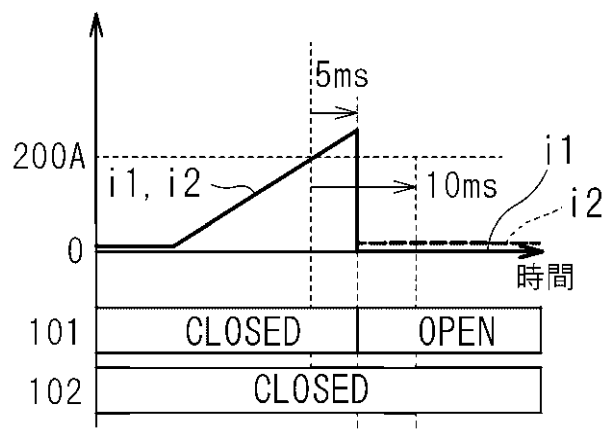
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図9】



【手続補正6】

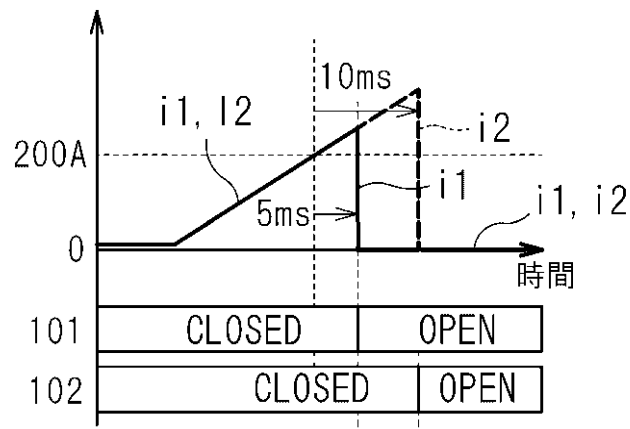
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図10】



【手続補正7】

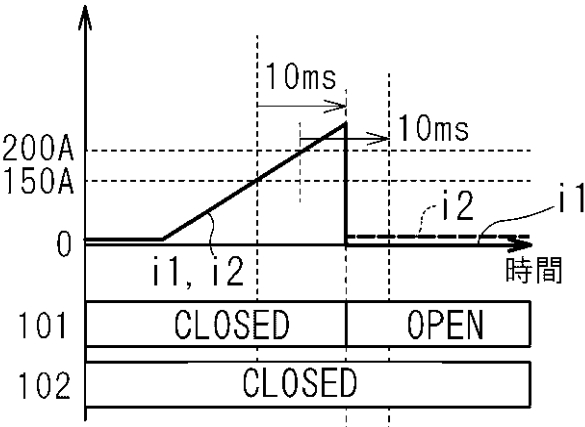
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 1】



【手続補正 8】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 2】

